



# 観てきました！

## ～人体の不思議展～

二〇〇三年九月六日から十二月二十八日まで有楽町駅前の国際フォーラム一階にて、人体の不思議展が開催されている。

ちなみに水曜日には我が大学で薬学部一二年生の機能形態学の非常勤講師である関口雅樹先生がこの展覧会の解説員を務めていることでも一部で話題を呼んでいる。

この展覧会は、展示されている人体標本が「プロラストミック法」というドイツで開発された最新技術によって作られていること、今注目浴びていること、これは実際の人間の解剖標本に、プラスチックを浸透させ、耐久性があつて手で触れるものに変えてしまう方法である。ホルマリン標本などと違い、扱いが容易で臭いも無く、保存がきく。混雑振りであった。標準的な学力を身につける目的もあるが、学習内容を減らし、従来の偏差値のみに振り回される詰め込みの受験勉強の負担を軽くするために作られた制度である。だがそれが本当に子供たちに与えることを目的として一九八二年の学習指導要領改訂以来進められてきた教育改革、いわゆる「ゆとり教育」によって小中、高等学校における基礎科目の授業時間が大幅に減少したことが学力低下を引き起こされたと考えられる。

### 論説

## 「ゆとり教育」を考える

最近、甚で日本の子供たちの学力低下が論議を呼んでいる。学力低下の原因として、高等教育における科目選択性（ラカルト方式）が挙げられている。つまり、受験勉強の弊害を取り除き、子供に「ゆとり」を与えることを目的として一九八二年の学習指導要領改訂以来進められてきた教育改革、いわゆる「ゆとり教育」によって小中、高等学校における基礎科目の授業時間が大幅に減少したことが学力低下を引き起こされたと考えられる。

「ゆとり教育」とは、業時間を補うために体育祭など、子供達にとって息抜きの行事時間を削らざるをえない。結局のところ、「ゆとり」ではなくなる。子供達に「ゆとり教育」が必要であるという考えは間違っていない。だが、授業時間が減らされた中で現場の教師たちが「ゆとり教育」のもと、子供達が常に興味を持てる授業を行えるだろうか。すなわち、「ゆとり教育」の中で子供達をうまく教育をするためには、単なる詰め込みで行う。教科で学んだことを外に出て、子供達の学習意欲を喚起させ、興味を持たせることが大切である。そのためには公立の週五日制では時間的に不可能なのである。私立はもう週六日制に戻しているところが多い。た

本は広い会場に全部で百六十余点あり、人間の体の精巧さを肌で感じることが出来る。イラストや写真でしか見たことのない、全身の筋肉・神経・臓器・血管などのつながりが、本当に目の前にあるのだというところに純粋に感動した。また、標準展示の他にも、人間の脳の重さを手で持ったり、標本に触れられるコーナーがあつたりとかなり楽しめた。現在話題の展覧会だけあつて、学生サポートセンターにおかれていた

招待券は既に無くなりパンフレット及び百円の割引券も数が少なくなっている。大学生は当日券が千五百円である。開催期間はまだまだあるので是非皆さんにも一度見に行くとをお勧めする。

有楽町線有楽町駅  
有楽町線有楽町駅  
JR京葉線東京駅  
東京駅  
有楽町線有楽町駅  
東京国際フォーラム (1階Aプロック側)  
有楽町

## INFORMATION

### ～パク実験的営業延長のお知らせ～

期間 10月20日(月)から11月21日(金)  
営業時間 月・火・木・金曜日は朝9時から夕方6時  
水曜日は朝9時から夕方5時  
土・日・祝日及び薬祭期間中は閉店となります。  
実験結果で2004年4月以降の営業時間が変わる可能性もあります。また、新たな4つの企画が実施されています。

1. 午後3時頃から手作りサンド販売
2. 午後4時頃からミニ弁当販売
3. 夕方には肉まん販売
4. タイムサービスとしてホット飲料のセールを実施

肉まん以外は時間延長期間だけの特別企画なので是非ご利用ください。朝早い人のために文房具も揃えています。

東京薬科大学学生協購買書籍部

## 動物慰霊祭

普段、教育三号館、最近出来た喫煙所の隣にある小さな石碑の存在を意識している人はどれくらいいるだろうか。石碑に刻まれた文字は「愛らしき動物達に」。

我が校では両学部とも実験動物を使用する実習が多くあるが、この石碑は実験動物たちのための慰霊碑なのである。

また、東薬では毎年後期の終わりに、実習などで使用した実験動物の霊を弔うために動物慰霊祭



められるため、参考書だけでは得られない実地の経験ができる。動物実験自体にも賛否両論あるが、いくら勉強のためでも自分たちが罪無き多くの生き物の命を奪っていることは確かである。我々は実習を行う以上、必ず実験動物を殺さなくてはならない。それならばせめて知識の糧になつてくれた動物たちに感謝の意を示して今年の慰霊祭に参加してみようだろうか。

## 合唱に興味のある方、お待ちしております！



## ♪合唱団広告♪

ただいま合唱団部員を募集中です。初心者も経験者もカラオケでハモることが好きだという人も大歓迎です。歌や合唱に興味はあるけど、自分は音痴だから絶対無理と考へてためらっているそのあなた。誰だって初めは音痴です。音楽に開つたことがなければ、ドレミが読めなくても当たり前です。音痴だから自分には無理だと勝手に思い込んで、自分に待ったをかけるのはやめてみませんか。音楽は楽しいです。皆で声を合わせて音を生み出すのもとても気持ちの良いものです。それをちょっとした勘違いで見逃していませんか。歌に少しでも興味があるのなら、騙されたと思つて私達の合唱団に遊びに来てみてください。毎週水曜日の午後五時から二二講義室で練習しています。練習時間の一時間は前から合唱団員が活動していますので、気軽に遊びに来てください。私達東京薬科大学合唱団が皆さんに歌うことの楽しさを知つてもらつための手助けをいたします。

# 東薬閑話特大版

## 東薬祭ライブに迫る！！

明姫(以下、姫)

「なんと今回の東薬閑話は特大版でございまして、通常の約三倍のボリュームです。張り切りついでに★」

「アキラ(以下、A)「よろしくお願ひします」

「過去五年間の出演アーティストについて私が独自に調べ上げた資料、これを読めば、タも東薬祭ライブについて詳しくなれるわ。★」

「A「すげー」

「A「それは楽しみだね」

「A「それは楽しみたいね」

「A「それは楽しみたいね」

「A「それは楽しみたいね」

「A「それは楽しみたいね」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」

「A「いや、今年は何もやらないですよ。昨年はこの新聞会でお団子と焼きそばの屋台を出したけど、今年は準備する暇がなかったんで…」



### 第五〇回東薬祭テーマとポスター

#### 決定！

秋も深まり、東薬祭の季節がやってきました。今年の東薬祭は十一月一日～三日です。東薬祭のテーマとポスターについて東薬祭運営委員会・情報宣伝課のヘッドを努める永井慎太郎さんに話を伺いました。

「今年で東薬祭もついに第五〇回を迎えます。その記念すべきテーマは『50』から始まる東薬まつりです。このテーマには、今まで四十九年の東薬祭の歴史を生かして、今年も一年生がデザインを描いてくれました。今回のデザインはすべて手作りで暖かみにあふれた素晴らしいものが出来上がりました。第五〇回東薬祭スタッフ一同仲良く頑張っておりますので、当日はぜひお立ちください。」

### My Favorite

神岡学・著 大和書房・出版

「ありのままをつい、私のお気に入りになった唯一の癒し系の本がこの神岡学さんの本です。言葉がすっと入ってくるのが快感でした。読み終わったらあの爽快感が何とも言えません。それを機に、その著者の本を何冊か買いましたが、どれも数少ない私のお気に入りになりました。もしついに絵本に癒しを求めたい時が来たら、さままま著者の本を読んでもいいとお勧めします。自分と共鳴する言葉を書く人が必ずいると思います。」

「『あわせのとなりで。』『きみとあつてすきなものがふたまたま。』『大き〜見える世の中なんて、ボクみたいじゃないかな』など、感覚的に思ってしまったので、絵本のくせして高いのに、無駄遣いをしてしまったわ。と毒を吐きたくなかったものもあります。さういふことから、感銘を受ける言葉とこの本は読む人によってそれぞれ違つて思つてますが、敵な本です。」

(蘭)

# クロスレビュー 青春の 光と影

今月のテーマ  
『オススマンガ』

## えぬえむ

バスのタイヤは改正された。時間をずらしてくれり良かったんだ。本数増やしてもダメだったの。そしてまた堀の内へ歩いて帰る…。

## Fe

中日ドラゴンズの新監督に落合氏が就任しました!「オレ流」の野球でファンをどこまで楽しませてくれるかが見ものですな!!頑張れ!ドラゴンズ!!

## GO

四輪に浮気すぎたせいでしょ。数年間愛用しつづけたアブリリアのスクーターが壊れました。しかも燃料漏れ。走行中に爆発炎上の予感☆

# ブラックジャック

(えむえむ推薦)



**8点** 自分は手術という言葉は聞くだけで身の毛もよだつほどのものだが、この漫画は好きだ。人の命を救うために法外な金を請求したりしなかったりするところが好きだ。医者も薬剤師も人の命を救うために働いているという点では同義だと思う。あ、だからといってポツクつたり無免許で仕事をしたりするのは無しね。漫画だから可能なんだし。

# 行け!稲中卓球部

(Fe推薦)



**9点** 漫画には大きく分けて三つあると思う。笑い、シリアス、そしてクレイジーだ。この漫画はそのクレイジーに当たると思う。笑い、クレイジーは似ているようで全く違う。常識の範囲内で考えられるのが笑い、突拍子も無いのがクレイジーだ。たまにはこういう翔んでる漫画も読まんとな頭カチコチになるぜ? 多くは語らん。笑いたきゃ読め!

# バリバリ伝説

(GO推薦)



**7点** 新聞会にはバイク好きな人は結構いるが、自分はあまり興味ない。兄と二人乗したことはあるが、スピードを出してると顔が引きつってしまふ。でもこの漫画はいい。ラブあり、パイオレンスあり、青春あり。何、古臭いだ? そういっちはナナハンに縛りつけてサーキット十週引き回しの刑だ! …あ、二輪免許ないや。

**8点** 知ってました?この作者、手塚治虫の本名は「手塚治」ってこと。「虫」がないんですよ!「虫」がにょろにょろとトリアの泉に出せるかなあ…。まあ、そんなことは良いとしてふと思ったのが、医師・看護婦が主人公となるマンガは今までたくさんあったのに、薬剤師を主人公とするマンガは見たときないって事。何でも治す最強の薬を作る薬剤師っていうストーリーで出来そうなんだけどなあ。あったらちょっと見てみたい気がする…。

**9点** 王道過ぎて何も言うことはありません。あ、そうそう、新聞会室のビノコの柄のマグカップ割っちゃったのは僕です。今まで黙っててごめんなさい。しかし最近漫画が原作のドラマや映画が多くて辟易するね。脚本は安くて済むわ、原作ファンも獲得できるわ、上手くすりゃ出版元がスポンサーにつくわで製作サイドにとっちゃ旨味だらけなんだろうけど、原作無視の若手俳優キャストイングによる量産体制はいただけないであります。

**10点** はつきり言って天才マンガです。10点を付けてはいますが、できるもんなら100点にしたいくらいですなこれを読み、笑わずして終わらぬ巻はないです。自分の口からはこの本のおもしろさをうまく説明できません。とりあえず…ってか、必ず読んでみて下さい!マジでオススメです!読んだ人だけがわかる稲中ワールドです。

**4点** 下ネタ、幼稚なギャグ、醜く描かれたキャラクター等、まさに「中坊」という言葉から連想される汚いイメージ全てを内包することで当時の男子中高生を席巻した稲中…。のはずなのに、読破後に「よく笑えないで読めますね」と後輩に言われてしまった…なんか、電車の中で乗り合わせた子供達がギャーギャー騒いでるのを見てみたいで…ちょっとイタイ。昔は楽しかったはずなのに、ひょっとして歳のせい!?…切ない。

**9点** 一言で言い表すと、「バイク・喧嘩・男のロマン」って感じですかねえ。男心をくすぐる硬派なマンガです!自分も大型二輪免許を取って湾岸高速をブイブイ言わせながら爆走したくなりました!でもやっぱりバイクに乗る男のBGMといえば、嶋大輔「男の勲章」っすかね!あれ?知らない?あれだよ、あれ!フジテレビ「めっちゃイケ」の数取り団で負けたときに流れる曲だよ。あの曲があったらどこまで走っていきそうだ。

**10点** 未だに色褪せない(と思う)バイク漫画のバイブル。この漫画読んでツインリンクもてぎにWGP観に行っちゃったし。前半は80年代ネタ全開のこぼれずかしい学園青春ものといった趣なのに対して、後半はレース一色に。頭文字Dと違ってそれがまた不思議と格好良いんです。ちなみに頭文字Dは車で走ってるかファミレスで会話してるシーンしかありません(偏見)。しげの秀一の描画力の成長っぷりも要注目!!ヒデオシ〜!

## Jr.のなんかに食わせろ 野外編 まる重

毎回毎回この取材はアボなしで突撃するわけだが、今回の店主も驚きながらも取材を快諾してくれた。座席数は軽トラの荷台のカウンター席が六つ、キャンピングテーブル席四つの計十席だった。見た目は本当にこぢんまりとした屋台なのだが、この店は地元民に慕われているらしく、調理中も客との会話かえすしい雰囲気だった。

メニューはまる重らーめん、辛ねぎらーめん、やわらかチャーシューメン、特製まる重らーめん、四つをメインに替え玉やトッピングなど、屋台というハンデに負けず豊富な。

今回は三人で辛ねぎチャーシュー、特製の三つを頼んだ。我々は初めでだったのでニンニクを入れるか入れないかなどレクチャーを味わった。き、スープを味わうため後かきを入れることにした。私は特製を頼んだ。スープは豚骨醤油といっていていいだろう、とてもこってりしていて濃厚だった。脂が苦手な人は見ただ目でひいてしまうかもしれないが、口にしてみれば旨味が出ていて満足すること間違いなし。写真を見ていただけば分かるだろう、特製の名は伊達じょうろ、カメラの絞りのごとく盛られたのりの中にチャーシュー・半熟煮玉子である。豪勢なこと申し分ない。のりを数枚残しチャーシュー一枚、煮玉子をたいたらげ、ニンニクをいれ、残りののりをスープに沈め、麺に取りかかると。食べ方だけでも悩む一品だ。辛ねぎのスープもいたいたが、ネギの辛さが引き立ちこれからの寒い季節にはぴったりな熱い一杯だ。チャーシューの方を食べていたはずの彼が、辛気味は気付けずスープまで飲み干していた。普段どんなに美味くても私はラーメンのスープを全て飲み干さないのだが、こののスープは全て飲み干してしまっ。ニンニクを入れる前と後の味の二つを堪能するべし。辛ねぎを食べたGOさんはスープを飲み干した後も辛い辛いと言いつづけていた。

丁度夜になり寒くなってきた頃に私は食べ終わって、たはずなのだが体が火照っていた。

〜お会計〜  
特製まる重らーめん 八〇〇円  
やわらかチャーシューメン 七五〇円  
辛ねぎらーめん 六五〇円

「お店の人から一言、飲み物やおにぎりなど持ち込みOKです。裏メニューも用意しています。BBSもあるのを見て下さい。よろしく。」

「感想」  
本当に気さくな店主でよかった。営業時間は夜七時〜翌二時迄、しかし始業の時間は屋台のため多少の誤差がある。取材時は開店と同時に行列が出来ていたため、早めに行

## 編集後記

体育祭の句 体育部部長  
秋の空 気合い根性  
体育会(全奉り)

体育祭を終えた体育部長が、喜びを表して一句詠んでくれました。彼は六月号でマラソン大会の原稿を依頼した際にも素敵な詩を書いてくれたので、覚えてる人も多いことでしょう。また、体育祭には関係ありませんが、こんな詩も書いてくれました。

コンタクト

僕はコンタクトを買いました。  
メガネの時より世界が広がりました。  
でも、後輩に気付かれにくくなりました。  
きっとメガネは僕の体の一部だったのでしょう。

芸術の秋ですね。(→の詩然り)  
芸術を見たり聞いたりすることも良いですが、自分で作るものもなかなか意義のあるものです。音楽・スポーツ・美術・作文・レイアウト…  
初めて編集に参加したこの新聞も私にとっては一つの芸術作品。皆さん、読んでください!!  
(ソフィア)

↑ 至 東 薬

野塚街道

大栗川

Book off  
シェル石油

ニュータウン通り

セブンイレブン ファミマ

トヨタ

★ 重  
まる

日産

京王堀之内

くか待つのを覚悟するべきだろう。ドンキの敷地内でも興まったところにあるから注意すべし。また、堀之内の隠れた名店である。